

# わが力

No.21

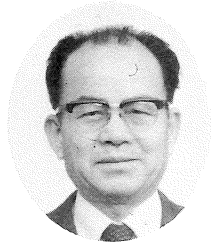
開園10周年記念特集 1983年1月



財団法人

鹿児島市動物公園協会

## 亥年に思う



平川動物公園長 川 畑 純 徳

昭和58年の干支はイノシシです。毎年のことですが、動物園長は年末になると来年の干支の動物をどのように展示するかを悩まします。イノシシは観賞価値から見るとあまり立派な展示物とはいえないので、日頃はちょっと冷遇されています。しかしこのイノシシも干支にあたる12年目毎に、脚光をあびます。年末が近づくと、カレンダーの製作や正月新聞の取

材で日頃はあまりぱっとしないイノシシ舎が賑わいます。

昨年12月の新聞に「全国の動物園でイノシシを展示しているのは14園で、九州では到津・別府・鹿児島島の3園だけが展示している。なかでも鹿児島は8頭ものニホンイノシシをもっている。」と報道されました。この新聞をみて、「どうしてイノシシはいないの」ときたまかかってくる子供たちからの電話に困っていた熊本園長さんから電話があり、ニホンイノシシを是非分譲してくれということでした。師走もおしつまって交換動物のアメリカオシドリをもって、熊本動物園の職員の方が、はるばるイノシシを受取りにみえました。翌日の熊本県の新聞やテレビが、熊本動物園に干支のイノシシが入ったことを大きく報道したとき、日頃はあまり陽のあたらないイノシシがたまにはこんな晴れがましいことがあってよかったなあと思いました。

昨夏オランダで開かれた国際動物園長連盟総会に出席された上野動物園の園長さんは、世界的な視野にたって野生動植物の保護に力を尽している国際自然保護連合(スイスに本部)のイノシシの担当者から、リュウキュウイノシシが「原始的な種で貴重、日本で保護に努力して欲しい」と頼まれたそうです。帰国した上野の園長からリュウキュウイノシシを展示飼育して保護に努力してもらえないかという電話をいただきました。

リュウキュウイノシシは、奄美大島・徳之島・沖縄本島・石垣島・西表島など琉球列島では比較的大きな島だけにすみ、かなり小型で大きくなっても60kgどまりのイノシシです。上野の園長さんの話は、イノシシ年を迎えるときのことでもあり、正月に間に合うようにと考えて、さっそく奄美大島に手配しました。すぐにでも手に入るものと考えていましたが、12月には入っても連絡はなくやきもきさせられました。リュウキュウイノシシを手に入れたと連絡があったのは、年が明けて1月5日のことでした。遅ればせながら、干支の登場です。

新着のリュウキュウイノシシは、新聞やテレビで大きく報道されました。私たちは現地でも手に入るように考えていましたが、いつのまにか数が少なくなり、なかなか手に入れにくくなったこのリュウキュウイノシシを大事に保護飼育して、種の保存に努めなければならないと思っています。(鹿児島市動物公園協会理事)

### ◀表紙

#### あまみのくろうさぎ(Amami Rabbit) うさぎ目 うさぎ科

うさぎ科の中でもっとも原始的な種類で、生きた化石ともいわれおり昭和38年国の特別天然記念物に指定されている。奄美大島と徳之島だけに生息し、耳が小さく四肢は短い。爪は強力で夜行性である。上あごの臼歯が5対しかない。本園では昭和55年7月から飼育を始め生態研究を続けている。

### ▼行事

3月14日～4月29日  
春の動物公園まつり

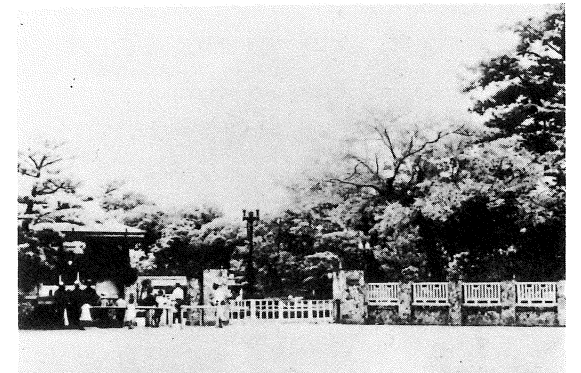
### ▼飼育動物数(昭57.12現在)

ほ乳類	74種	313点
鳥類	82種	609点
は虫類	6種	14点
計	162種	936点

# 平川動物公園前史

## (鴨池動物園時代)

- 大正5年 鹿児島電気軌道(株)が鴨池遊園地を創設。
- 昭和3年7月 鹿児島市が鴨池遊園地を買収し電気局所管とする。
- 昭和5年6月 鹿児島市平之町の野上堅蔵氏より象1頭、アシカ、ワニ、カンガルーなどの寄贈。
- 昭和8年4月 電気局所管より本庁土木課に移管される。
- 昭和10年4月 園内に植物園を設置。
- 昭和14年7月 園内にて鹿児島県博物学会を開催。
- 昭和18年10月 軍命令でライオン2頭、クマ7頭、ワニ4匹、ニシキヘビ2匹を処分。
- 昭和18年11月 処分動物慰霊祭を行なう。
- 昭和23年6月 全国動物園水族館協会総会が鹿児島島で開催される。
- 昭和24年8月 第1回市民納涼の夕べを園内で開く。
- 昭和25年3月 九州ステートフェアを開催。
- 昭和25年10月 伊敷、東桜島村、市編入祝賀のため1日無料開放。
- 昭和26年6月 タイ国ウドム・サン・カサブ氏より象2頭の寄贈。
- 昭和26年10月 移動動物園を鹿屋市で開催。
- 昭和26年10月 ルース台風で動物舎、遊具施設、樹木に大きな被害を出す。
- 昭和27年4月 入園料の団体割引を実施。
- 昭和27年9月 キリン1頭購入(命名富士子)
- 昭和27年10月 交通局所管となる。



大正7年 動物園正門

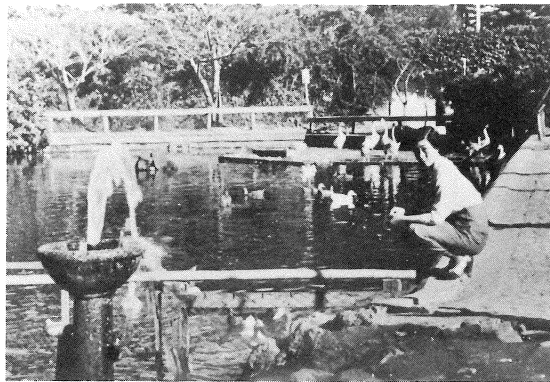


大正15年 大庭園完成

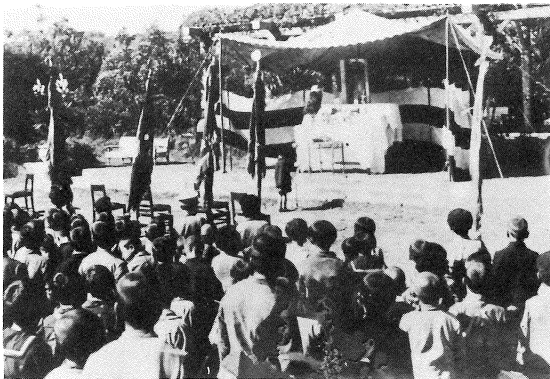


大正15年 ボート池の中の島完成

昭和28年6月 ラクダ1頭購入(命名ミネ子)  
 昭和28年9月 鴨池動物園市営25周年記念式。  
 昭和29年8月 チンパンジー購入。  
 昭和30年5月 キリン1頭購入(命名高子)  
 昭和30年10月 キリン1頭購入(命名長生)  
 昭和31年6月 時の記念日、象タイ子ちゃん動物園から市役所まで歩行所要時間懸賞募集(51分29秒)  
 昭和31年8月 夜間開園、市民納涼大会。  
 昭和31年9月 チンパンジー購入(命名博男)  
 昭和31年11月 誰にもわかる科学博覧会開催。  
 昭和32年3月 動物愛護週間、象の市中パレード  
 ヒヨコ無料配付。  
 昭和32年12月 水族館建設着工。  
 昭和33年3月 動物園入口前象噴水完成。  
 昭和33年6月 水族館開設、入館料大人30円、小人20円。  
 昭和33年10月 動物園市営30周年記念「動く大菊人形博覧会」開催。  
 昭和34年5月 象のタイ子ちゃん死亡。  
 昭和35年2月 都市計画により動物舎、樹木の大部分を移転。  
 昭和35年4月 動物園と水族館の料金一本化、大人50円、中人30円、小人20円。  
 昭和35年9月 象1頭購入(命名カン子)  
 昭和35年10月 世界観光風俗博覧会と日光博を開催。  
 昭和36年8月 夏休み動物園教室を開く。  
 昭和37年4月 交通局より教育委員会所管となる。  
 昭和37年7月 日本動物園水族館協会、日博協西日本地区総会開催。  
 昭和38年8月 市民納涼の夕べ、職場芸能合戦。  
 昭和39年2月 オランウータン寄贈(命名ピック)  
 昭和39年10月 モノレール完成。  
 昭和39年10月 メキシコ博覧会開催。  
 昭和40年7月 海の記念日、船の模型展と競艇大会を開催。  
 昭和40年8月 子供プール完成。  
 昭和40年10月 南日本マジックフェア開催。



昭和15年頃の思い出のアヒル池



昭和18年 動物慰霊祭



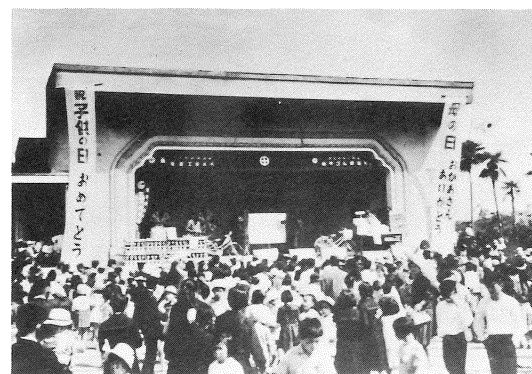
昭和25年頃の園内風景



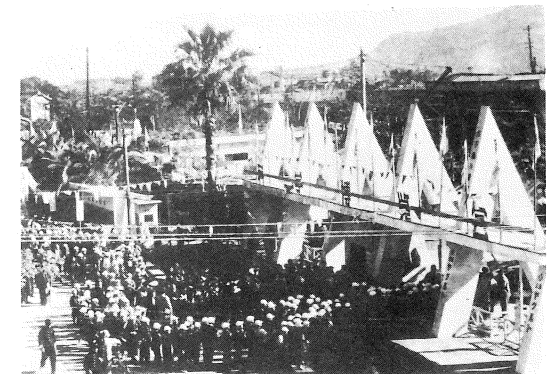
昭和26年 戦後初めて象さん来る

昭和41年4月 チンパンジー、メス2頭購入。  
 昭和41年8月 開園50周年記念「動物園のあゆみ写真展」  
 昭和41年9月 ゴーカート運転開始。  
 昭和41年11月 開園50周年記念式典。  
 昭和42年4月 歌とおどりでつづる明治百年祭。  
 昭和43年7月 出水よりナベヅル7羽入園。  
 昭和43年7月 市電開通40周年記念動物園無料開放。  
 昭和43年11月 ライオンといっしょに写真を撮る会を開く。  
 昭和44年3月 ペット飼育相談所開設。  
 昭和44年8月 昆虫教室開く。  
 昭和45年8月 チビッコスケッチ大会、チビッコさかなつかみどり大会を開催。  
 昭和45年9月 動物舎の一部移転工事始まる。  
 昭和45年11月 クジャク、キジ等の分譲抽選会を開く。  
 昭和47年2月 閉園。  
 昭和47年3月 3月より当分の間無料開園し、のりものは4月より廃止。  
 昭和47年9月 新しく平川動物公園への動物移送  
 ～10月 始まる。  
 昭和47年10月13日

56年間続いた鴨池動物園に幕が下り、輝かしい歴史と伝統は新平川動物公園に引き継がれた。



昭和45年 多くの催しがあった屋外劇場



昭和31年 誰にもわかる科学博覧会開かる



昭和33年頃の動物園入口前の象さん噴水



昭和34年頃の水族館と二階大食堂



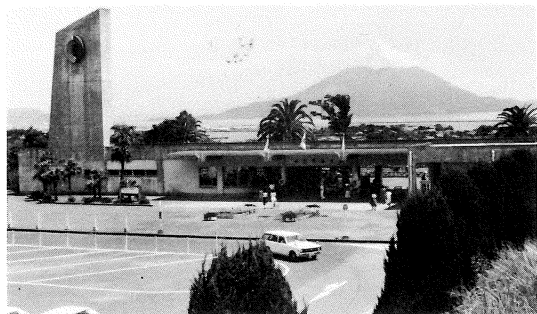
昭和35年頃のボート池と桜島



# 平川動物公園10年のあゆみ

## 昭和47年(1972年)

10月14日 平川動物公園開園式



11月28日 コウノトリ1羽兵庫県繁殖センターへ送る

## 昭和48年(1973年)

3月18日 第一回春の動物公園まつり始まる(4月29日まで)

5月24日 オーストラリア・パース市ヘニホンザル4頭贈る

8月2日 パース市よりオオカンガルー4頭入園



8月12日 オランウータンのモンちゃん佐世保亜熱帯動植物園より入園

8月26日 第一回サマースクール開校

8月27日 池松園長死去

9月1日 シカの角切り

10月1日 チンパンジーショー始まる

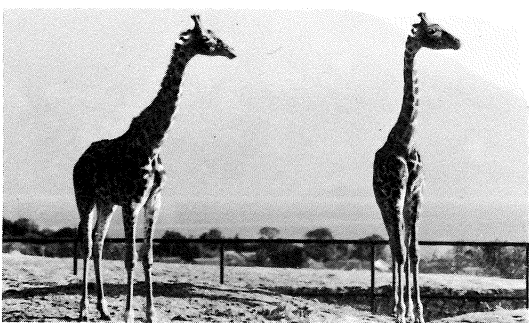


10月1日 動物公園機関紙「ひらかわ」発刊



11月1日 菊花まつり始まる(11月11日まで)

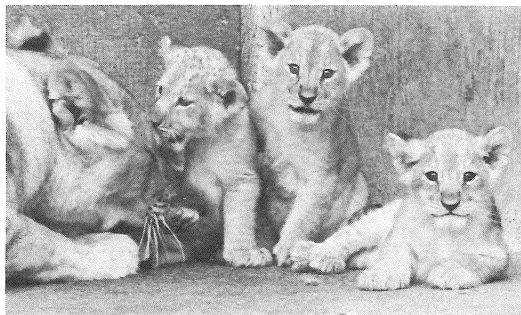
11月24日 キリン2頭入園



## 昭和49年(1974年)

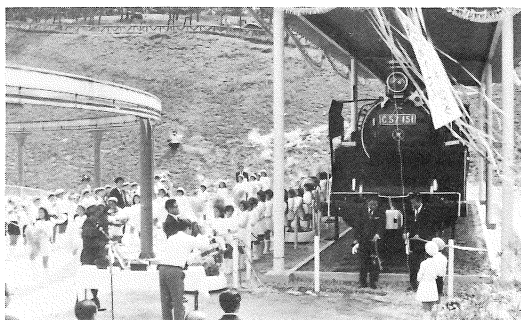
1月1日 こども動物図書館開館式

3月25日 ライオンの3つ子たん生



4月22日 パース市長一行来園

4月27日 C57型SL譲渡式



5月2日 名付親の鶴田さんドム君と20年ぶりに再会

5月8日 有料入園者100万人突破

6月6日 計量記念日・ゴリラ体重測定(キング20kg・メリー18kg)



6月22日 本園で初めてセイケイ繁殖賞受賞

9月6日 ペルー国立動物園よりコンドル・バク・カピバラなどが入園

9月23日 動物慰霊祭



## 昭和50年(1975年)

1月1日 入園記念スタンプ使用始まる

2月11日 エミュウのヒナ初めて、たん生



3月29日 五位野川へ稚アユ1000尾放流

11月6日 ナベヅル3羽出水市より仲間入り

## 昭和51年(1976年)

3月14日 アルパカ4頭、ラマ2頭ペルー国立動物園より入園



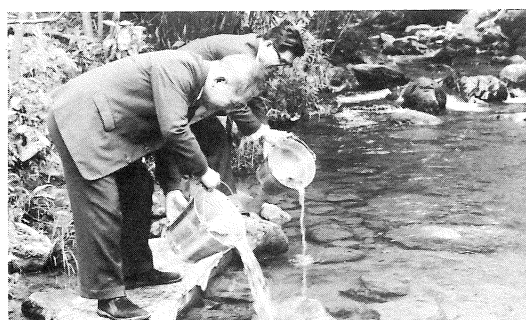
6月5日 計量記念日・ゴリラ体重測定  
(キング41kg・メリー33kg)

9月13日 キリン初めてたん生  
(命名タカ子)



10月8日 兵庫県よりシュバシコウ3羽入園

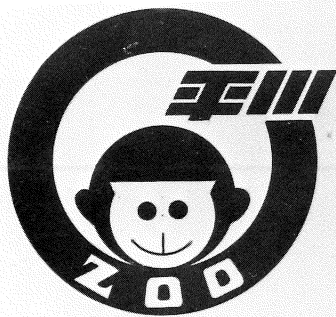
10月9日 五位野川に鯉2000尾放流



10月11日 有料入園者200万人突破

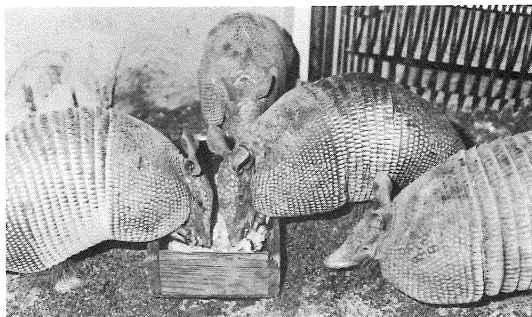
### 昭和52年(1977年)

1月24日 動物公園シンボルマーク決まる



2月15日 本園図書館で飼育技術者認定試験

3月19日 ココノオビアルマジロ4頭入園



6月6日 計量記念日・オランウータン体重測定 (モンちゃん65kg)

10月16日 ソデグロヅル1羽アメリカ国際ツル財団へ送る

10月29日 九州郵政局より太陽電池時計寄贈

11月9日 第25回全国獣医並びに飼育技術者研究会開催



### 昭和53年(1978年)

2月10日 オランウータンのピック君とモンちゃんの結婚式



3月2日 トカラウマ1頭十島村へ送る

3月19日 国鉄交友会SLを整備

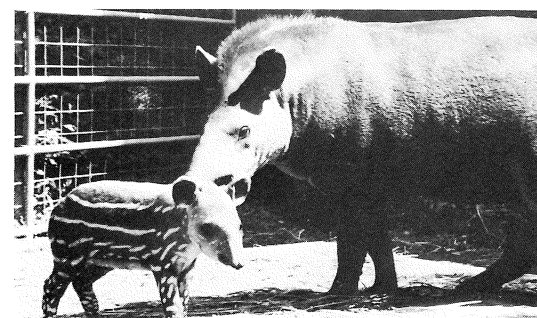
10月11日 パース市親善使節団来園、ユーカリ記念植樹を行なう



### 昭和54年(1979年)

3月20日 大ケヤキ3本アフリカ園に植える

4月21日 アメリカバク初めてたん生



5月16日 有料入園者300万人突破

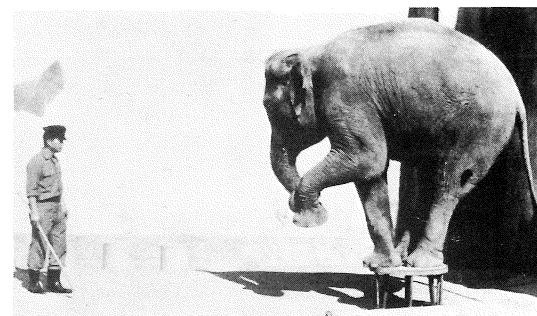


6月21日 オランウータンに男の子たん生 (命名 公平)



### 昭和55年(1980年)

2月14日 インドゾウのカン子死亡

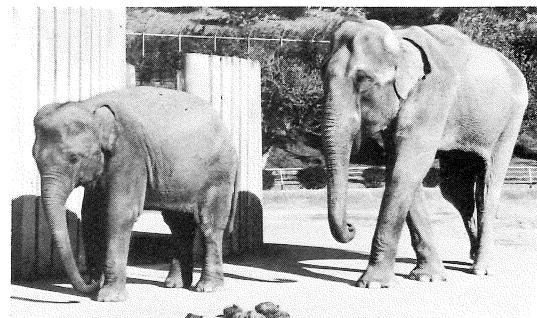


5月9日 西日本ブロック園館長会議開催

7月13日 鹿児島市の人口50万人到達記念入園無料

7月16日 国の特別天然記念物であるアマミノクロウサギの飼育を始める

9月12日 宮崎フェニックス自然動物園よりインドゾウのパクちゃん入園

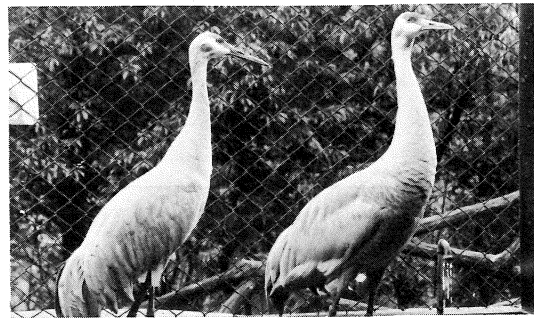


10月29日 鯉3000尾を白鳥池に放す



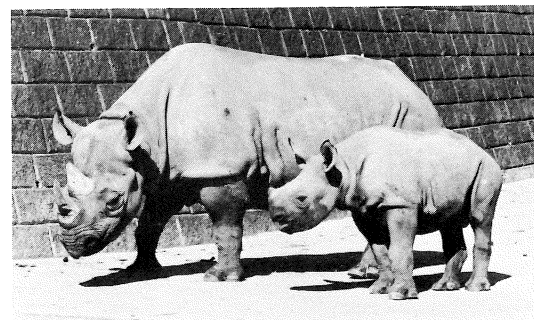
昭和56年(1981年)

2月13日 国際ツル財団よりカナダヅル入園



4月5日 新小学1年生無料招待

4月23日 クロサイに男の子たん生  
(命名・クロペー)



6月4日 ソデグロヅルがふ化したとの電報  
が国際ツル財団より届く

6月7日 計量記念日・ゾウ体重測定  
(ドム2750kg・パク1240kg)

6月15日 日本一長寿のニホンツキノワグマ  
死亡(35才)



11月2日 パース市長夫妻来園

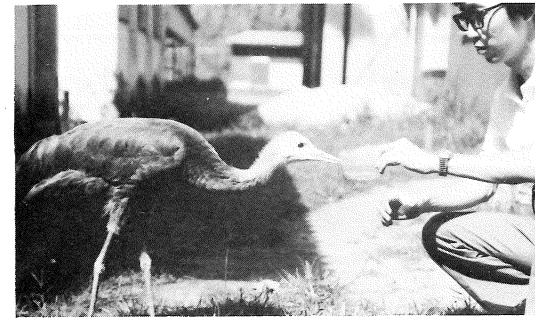


昭和57年(1982年)

3月21日 有料入園者400万人突破

5月14日 ナベヅル2羽出水市より入園

6月24日 ナベヅル日本で初めて自然ふ化



7月31日 中国長沙市先遣視察団来園

8月23日 梶原獣医コアラ生態など調査のため  
オーストラリアへ派遣



9月12日 パンダ(ランラン)のはく製展示  
(9月26日まで)

10月14日 開園10周年記念日

ナベヅルの成長記録



1982年6月24日

日本で初めてナベヅルのヒナが繁殖しました。フ化日数は29日で体重は92gでした。ヒナは池の中に落ちたりして危険なため、人間の手で育てました。



2ヶ月令

足の成長が著しく背高ノッポとなりました。このころからだんだん昆虫よりも小麦、パン青菜などを多く食べるようになりました。体重1860g。



2日目

生まれたばかりのヒナは良く眠ります。



2.5ヶ月令

園内の五位野川でとれるオイカワ、カワムツなどの川魚を1日30~50匹好んで食べました。体重2200g。



3日目

3日目から同じ日に生まれたクジャクのヒナも仲間入りしました。



3ヶ月令

充分成長し飛べるようになりました。エサは動物質より植物質の方を好むようになりました。体重2800g。



2週令

昆虫が大好きでバッタ、コオロギなどを1日に200匹も食べます。このころ足はぐんぐんのびて体重も190gと倍増しました。



6ヶ月令

頭の毛色以外は体の色も大きさも親鳥とほとんど変わらないくらい成長しました。体重5700g。

# 動物公園の顔



## ◀わおきつねざる(Ring-tailed Lemur)

霊長目 きつねざる科

全身の毛はふさふさと厚く、鼻口部はとがって、きつねに似ているが猿の一種で、その名の通り太くて長い白と黒の輪の尾は優美である。果物を主とする植物質が主食で、数頭の群で生息し、ねこに似たふるえるような高音のうなり声を出す。跳躍力が強く、地上をぴょんぴょんはねる。水を飲むときは犬のように舌でぴちゃぴちなめる。マダガスカル島にだけ生息している。

\*



### ▲WWF

動物公園入口に設置されているWWF（世界野生生物保護基金）のパンダ親子の募金箱が12月17日開けられ、は入っていた千円札23枚を含む60,282円が同基金の日本委員会へ送られました。WWFは「自然を守り、減少してゆく地球上の生物たちを救おう」という目的で1961年設立され本部はスイスにあります。募金活動で集まったお金は、世界各国の動物保護などのために使われます。



### ▲卵の大きさ

左よりダチョウ、エミウ、コブハクチョウ、タンチョウヅル、ニワトリ、セキセイインコの卵です。ダチョウの卵は長径約16cm、短径約12cm、重さは1,500gぐらいで、ニワトリの卵（約60g）の25個分もあります。

エミウの卵は濃い緑色で、タンチョウヅルの卵には、うすいかっ色の模様がついています。私たちにもっともなじみ深いすずめの卵は重さ2～3gで、灰かっ色をしています。

表紙題字

鹿児島市長 山之口安秀

ひらかわ No. 21 昭和58年1月15日発行 第21号  
 発行所 鹿児島市動物公園協会  
 〒891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎0992(61)2326~8  
 発行者 山之口 安秀  
 編集者 川畑 純徳

撮影：梶原純一・酒匂 猛・鳥丸孝彦